

2018年3月期 上期

決算概要

テルモ株式会社

常務執行役員 IR・広報室担当

北畠 一明

2017年11月9日

売上および全ての利益において過去最高を達成

(億円)

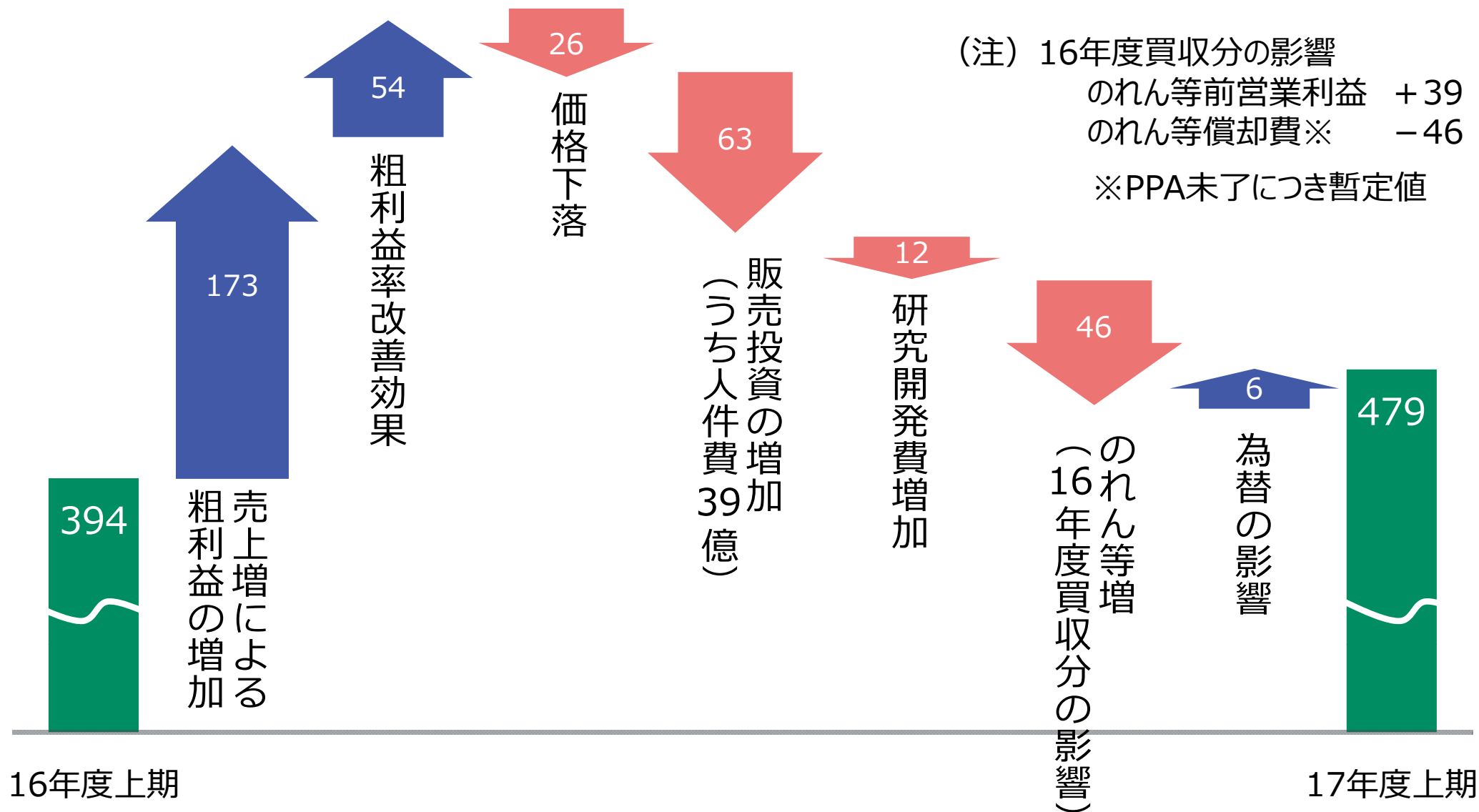
	16年度上期	17年度上期	増減率	為替除く 増減率
売上高	2,451	2,846	+16%	+12%
粗利益	1,350 (55.1%)	1,597 (56.1%)	+18%	+15%
一般管理費	793 (32.4%)	938 (33.0%)	+18%	+14%
研究開発費	163 (6.6%)	180 (6.3%)	+11%	+8%
営業利益	394 (16.1%)	479 (16.8%)	+22%	+20%
(のれん等償却除く)	486 (19.8%)	624 (21.9%)	+28%	+26%
経常利益	306 (12.5%)	470 (16.5%)	+53%	
純利益	204 (8.3%)	330 (11.6%)	+61%	

期中平均レート	USD	105円	111円
	EUR	118円	126円

- 売上高 : 心臓血管カンパニーが全体を牽引し、為替を除いても二桁伸長を達成
- 営業利益 : 3カンパニー全てが二桁伸長し大幅増益を達成。三期連続で最高益更新
- 経常利益 : 前年同期の為替差損 (66億) に対し、今年度は差益 (4億)

営業利益増減分析

(億円)



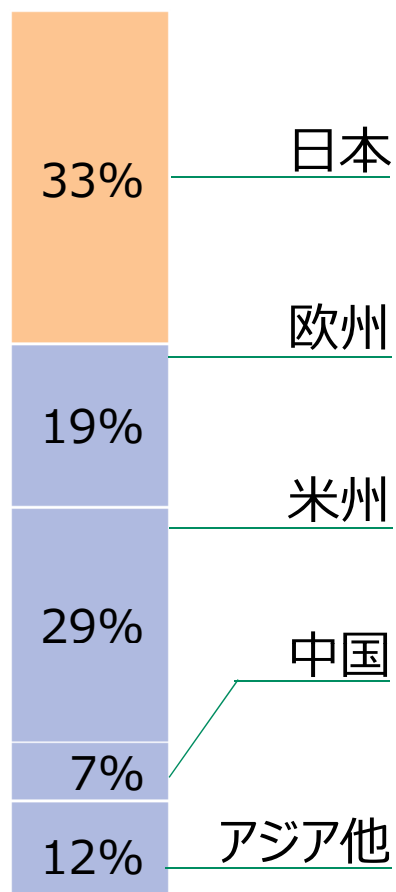
地域別売上高

■ 17年度上期

■ 16年度上期

売上高

100% = 2,846億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
--------	-----	------

() 内は為替影響除く

日本	925 918	+1%	ホスピタルと血液のマイナス伸長を 心臓血管がカバーし増収達成
欧州	553 455	+22% (+14%)	心臓血管が牽引し、為替を除いても二桁伸長
米州	836 647	+29% (+22%)	血液システムの成長回復。 心臓血管の大幅伸長継続
中国	204 160	+28% (+23%)	心臓血管、血液システムが牽引し二割以上の 伸長継続
アジア他	328 272	+20% (+14%)	心臓血管の全事業と血液システムが 二桁伸長を継続

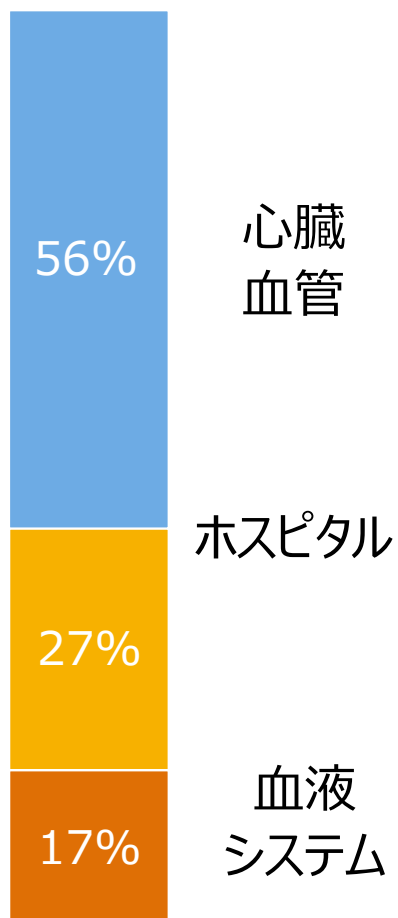
カンパニー別売上高

17年度上期

16年度上期

売上高

100% = 2,846億円



売上額前年比較

金額(億円)	増減率	コメント
() 内は為替影響除く		
心臓血管 17年度上期: 1576 16年度上期: 1215	+30% (+24%)	買収した製品が好調を維持。既存事業の好調なモメンタムも変わらず。為替の影響を除いても全事業で二桁伸長達成
ホスピタル 17年度上期: 777 16年度上期: 782	-1% (-2%)	海外を中心とした低収益事業の整理。国内では、医療器における代理店の在庫調整の影響は縮小、ポンプ買控えも緩和傾向にあり2Qは増収
血液システム 17年度上期: 492 16年度上期: 452	+9% (+4%)	新興国を中心に血液センター向け製品が伸長継続。北米におけるアフエレス治療が牽引

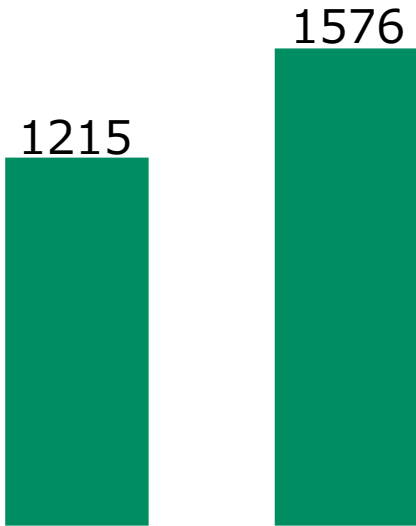
心臓血管：大幅な増収増益を達成

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

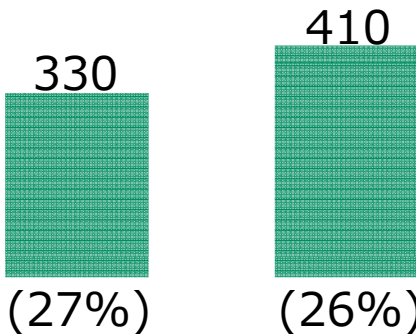
売上高



為替の影響	+74

TIS : 海外のアクセス、カーディオロジーが牽引	+58
ニューロ : 米中亜を中心にハイドロゲルコイルや吸引カテーテルが牽引	+30
CV : アナーバー工場品の出荷再開	+19
買収による増加	+174

事業利益(率)



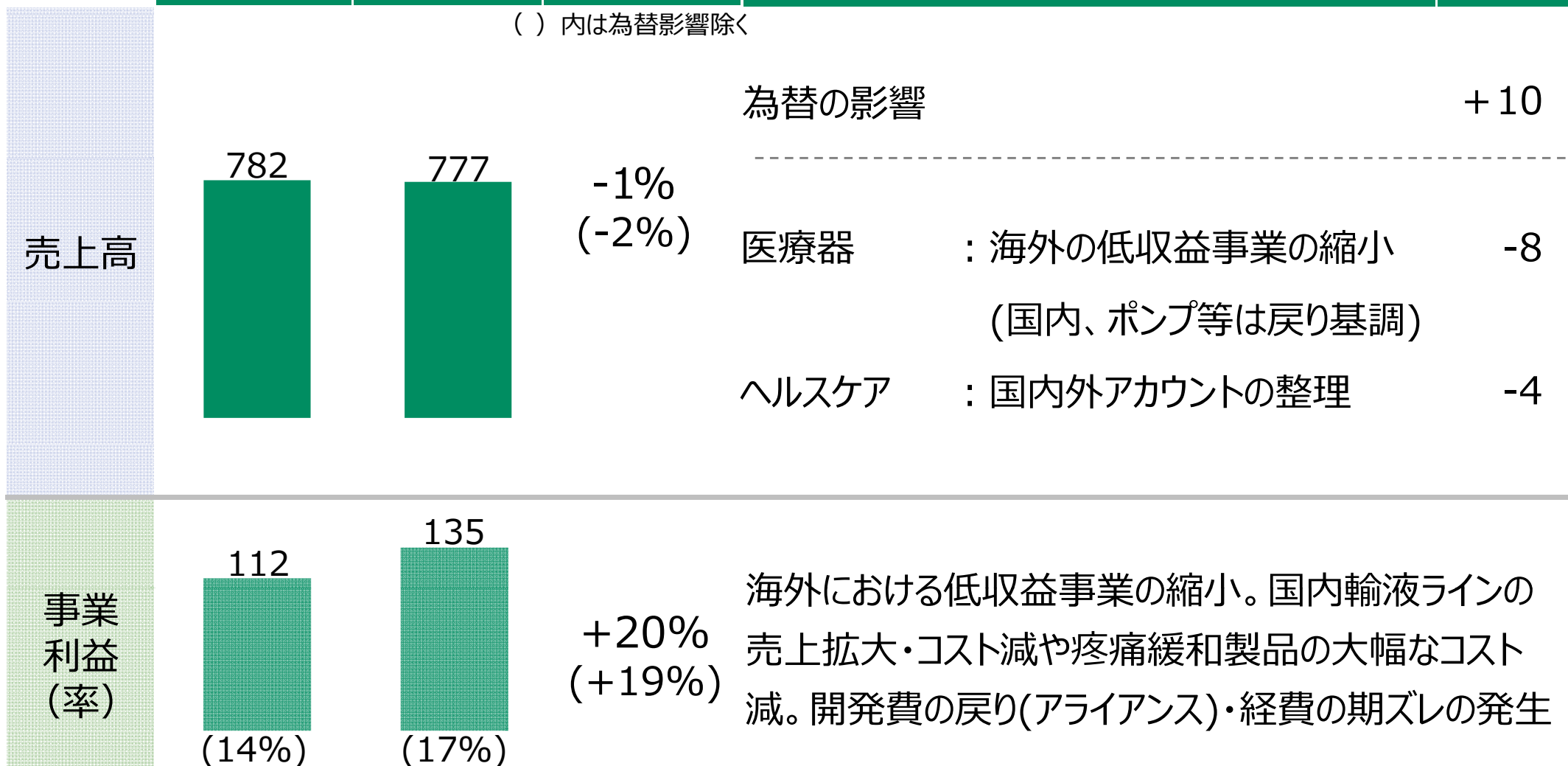
+24% (+26%)	売上拡大により大幅な増益達成。 高収益製品の拡大や高価格市場の米国での伸長が寄与し、高収益性維持
-------------	---

ホスピタル: 大幅な収益性改善

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く

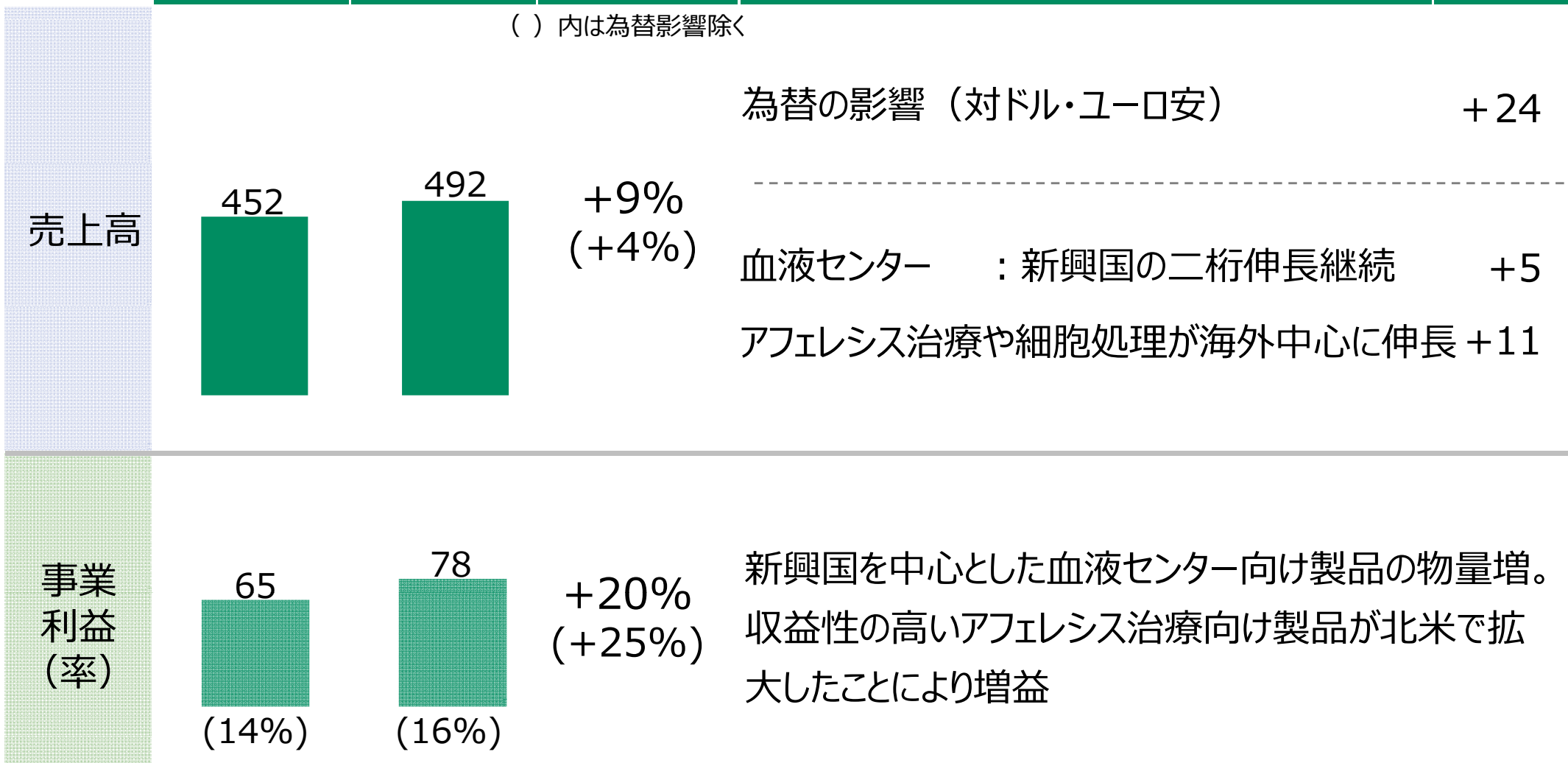


血液システム：売上成長および収益性の改善基調続く

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減率	主なトピック	金額
--	--------	--------	-----	--------	----

() 内は為替影響除く



主なトピックス

全社

- 17年度グッドデザイン賞を受賞



血管内超音波システム
「 Bizキューブ」
「アルタビュー」



医用電子血圧計
「エレマーノ2」

- CSR活動：米ハリケーンや九州集中豪雨被害への義援金・物資支援

芸術・文化活動への助成（伝統工芸継承の支援）

- 南カリフォルニアにMicroVention Worldwide Innovation Center開設
ニューロ、TIS末梢血管領域の開発シナジー加速（9月）



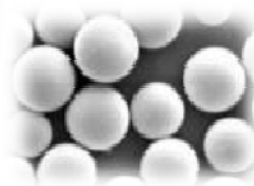
事業

- 豪州で「Ultimaster」ローンチ（8月）

- 日本で「テルフュージョン輸液ポンプ28型」ローンチ（8月）



- 欧州で放射線塞栓ビーズ「QuiremSpheres」ローンチ（9月）



17年度パイプライン製品のローンチ状況

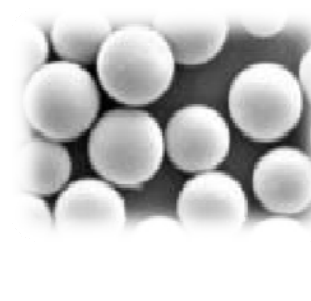
領域	製品		地域
心臓	PTCAバルーン		米: Q4
	ステント(TRI)	★	日・米・欧 Q4
	PTAバルーン(TRI)	★	日・米・欧 Q4
ペリ フェラル	PTAガイディングシース(TRI)	★	日・米・欧 Q4
	薬剤塗布バルーン	◎ ★	欧: Q4
	塞栓コイル	◎	済み
脳	プロテクションデバイス		済み
	ハイドロゲルコイル3D		済み
オンコロジー	放射線塞栓ビーズ	★	済み

◎ 業績貢献 大、★ イノベーション度 高

領域	製品		地域
CV	人工心肺装置(再出荷)	◎	済み
	次期・人工肺	◎	日・欧 FY18
医療器	縦型・輸液ポンプ		日: 済み
	抗がん剤暴露防止システム		済み
DM	パッチ型・インスリンポンプ	★	日
血液	次期・成分採血装置ソフトウェア		日: 済み



縦型・輸液ポンプ
「テルフュージョン
輸液ポンプ28型」 日



放射線塞栓ビーズ
「QuiremSpheres」 欧



次期・成分採血装置ソフトウェア
「トリマアクセルVer.7」 日

参考資料

17年度上期 事業別・地域別売上高と伸長率

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	264 (+8%)	1312 (+28%)	396 (+23%)	587 (+32%)	167 (+25%)	161 (+28%)	1576 (+24%)
うちカテーテル※	202 (+7%)	1064 (+29%)	318 (+21%)	456 (+38%)	156 (+24%)	135 (+29%)	1265 (+25%)
ホスピタル	607 (-1%)	171 (-4%)	39 (-5%)	36 (-7%)	10 (+6%)	84 (-3%)	777 (-2%)
血液システム	54 (-6%)	438 (+5%)	117 (-1%)	212 (+6%)	26 (+17%)	82 (+9%)	492 (+4%)
合計	925 (+1%)	1921 (+18%)	553 (+14%)	836 (+22%)	204 (+23%)	328 (+14%)	2846(+12%)

※ニューロバスキュラー事業含む
() 内は為替影響除く前年比伸長率

販管費

(億円)

	16年度上期	17年度上期	増減	増減率	為替除く 増減率
人件費	358	414	+56	+16%	+11%
販促費	75	80	+5	+7%	+3%
物流費	55	61	+6	+11%	+9%
償却費	123	184	+61	+50%	+43%
その他	182	199	+17	+9%	+6%
一般管理費計	793 (32.4%)	938 (33.0%)	+145	+18%	+14%
研究開発費	163 (6.6%)	180 (6.3%)	+17	+11%	+8%
販管費合計	956 (39.0%)	1,118 (39.3%)	+162	+17%	+13%

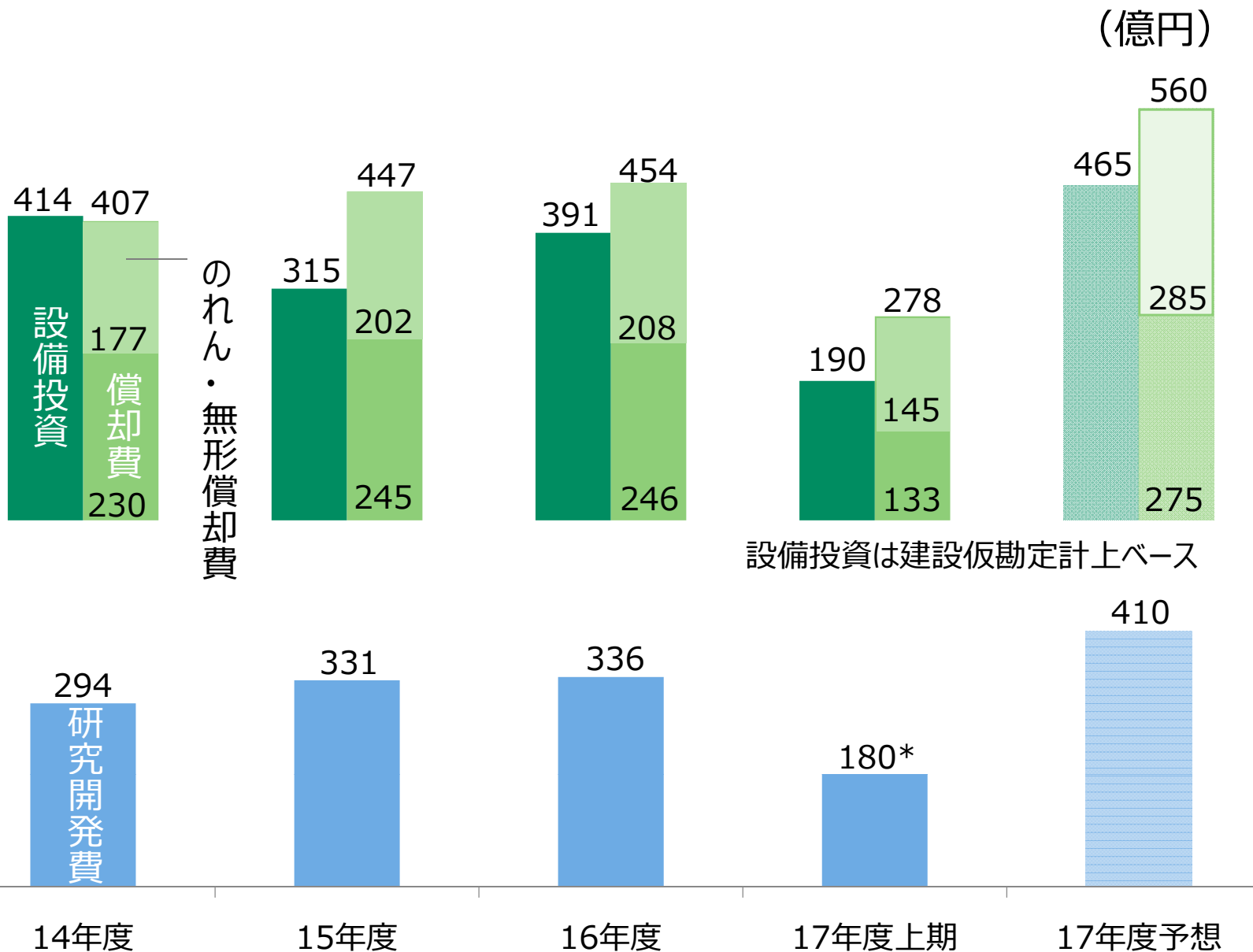
四半期の動き

(億円)

	16年度Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	17年度Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)
売上高	1,206	1,293	1,398	1,393	1,453
粗利益	658 (54.6%)	687 (53.2%)	743 (53.2%)	783 (56.2%)	814 (56.1%)
販管費	396 (32.9%)	410 (31.7%)	474 (34.0%)	464 (33.3%)	473 (32.6%)
開発費	82 (6.8%)	82 (6.4%)	92 (6.6%)	85 (6.1%)	96 (6.6%)
営業利益	180 (14.9%)	195 (15.1%)	177 (12.6%)	234 (16.8%)	245 (16.9%)
のれん等償却 除く営業利益	226 (18.8%)	245 (19.0%)	242 (17.4%)	306 (22.0%)	318 (21.9%)

四半期	USD	102円	109円	114円	111円	111円
平均レート	EUR	114円	118円	121円	122円	130円

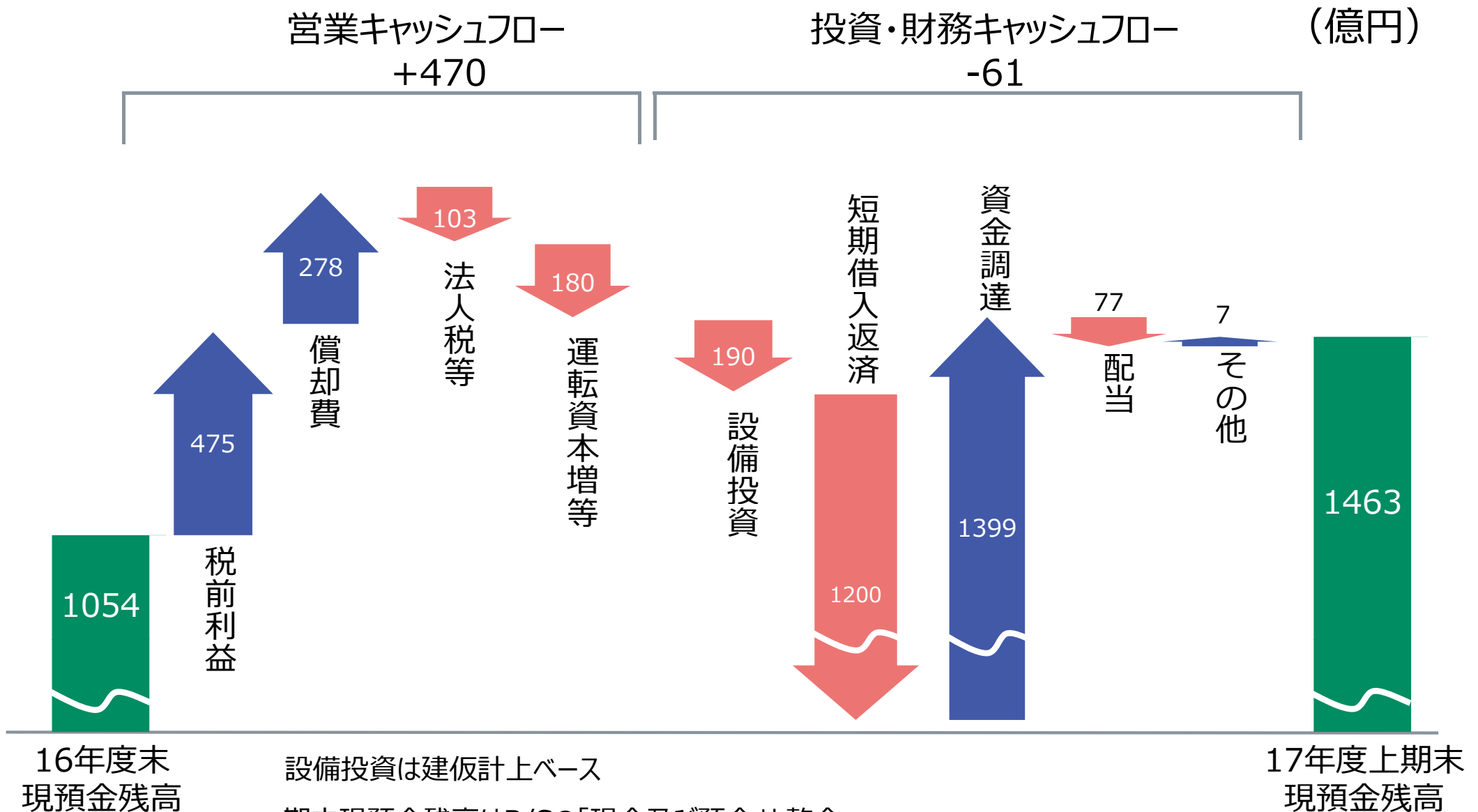
設備投資と研究開発費



- 17年度は、増産設備、生産スペース、IT投資を拡大
- のれん、無形償却費は、16年度に実施した買収案件により増加見込み
- 主に北米にてカテーテル・ニューロの開発活動を促進

*ベンチャー技術への投資は、研究開発費とは別に計上（15億円）

キャッシュフロー



設備投資は建仮計上ベース
 期末現預金残高はB/Sの「現金及び預金」と整合

17年度 為替感応度

(億円)

	USD		EUR	人民元
	のれん等償却 除く	のれん等償却 含む		
売上高	16	16	8	18
営業利益	0	-2	5	9

<参考> 10%変動時のインパクト

	北米	中南米	欧州		アジア	
			ユーロ圏	その他	人民元	その他
営業利益	-18	8	56	10	14	33

(参考) IFRSベース

- 2017年度 期末決算からIFRS（国際会計基準）を適用
- 開示スケジュール
2017年度第1～3四半期 : 日本基準
2017年度期末決算短信から : IFRS

参考

(億円)	日本基準 17年度上期	IFRS 17年度上期	影響
売上高	2,846	2,846	-
営業利益 (率)	479 (16.8%)	575 (20.2%)	+96
調整後営業利益 (率)	624 (21.9%)	647 (22.7%)	+23
純利益	330	411	+81

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。